

会参加者を対象に開催される「ポスト・サミット・アドベンチャー」と呼ばれる体験ツアーの受け入れを行いました。



体験ツアーを満喫する参加者たち

アメリカ・カナダなどから報道関係者などが参加した、当地への体験ツアーでは、当日の悪天候の影響を受け、宗谷丘陵周辺のサイクリングは中止を余儀なくされましたが、このエリアの自然景観や食など、ポテンシャルの高さに対し、大変高い評価をいただいたところとです。

水産物消費拡大に係る全国からの支援について

本年8月24日、東京電力福島第一原子力発電所のALPS処理水の排出が開始されたことを受けて、中国では日本水産物の輸入を全面停止しました。

このことに伴って、本市においても、特にホタテ貝に関しては、価格の下落、あるいは在庫の増加などの影響が生じ、漁業者、水産加工業者のみならず、運送業者や資材業者など関連業界にも影響が波及したことは、9月定例会において述べたとおりです。

そのような状況の中、本市と交流のある自治体から本市水産業を応援したいというお話をいただいております。水産関係者からも感謝の声が上がっています。

まず10月上旬、群馬県太田市から、ホタテ玉冷約4万個を12月の給食で使用したいとお話がありました。

市内水産加工業者の中で在庫を抱える業者から、太田市の支援の主旨に沿って本市が調整し、6社から調達した約1トンのホタテを取りまとめ、11月30日に発送することとしています。

また、間宮林蔵で交流のある、茨城県つくばみらい市からも、同様のお話をいただいております。来年2月の提供に向け、現在、調整を進めているところです。

さらに、ふるさと納税においても、本年9月の1か月間にいただいた寄附のうち、返礼品としてホタテが選ばれたものは、前年と比較して、金額ベースで6・3倍の約1億5千万円、件数では7・1倍の約1万2千件と大幅に伸びており、交流のある自治体のみならず、個人からの応援も、大変多くいただいております。このことを認識しています。

こうした全国からの応援を受け、本市としても、基幹産業の一つである水産業や関連産業を守る観点から、すでに着手している、市の広報媒体を使った消費PRの実施、あるいは、学校給食でのホタテ提供などをはじめとして、今後の動向を見極めながら、消費拡大に向けた取組を進めていきたいと考えています。

ベトナム モンカイ市への訪問について

11月16日から19日に、ベトナムで行われた「北海道

フェスティバルinハロン」に、道内のベトナム人の受け入れ先の主だった都市の一員として、札幌、函館、旭川、北見などとともに参加してまいりましたが、その中で、事務局からの勧めもあり、本市単独で、ベトナム北部の国境のまち「モンカイ」を訪問してきました。



稚内市を紹介する工藤市長

市の紹介を行ってきました。また、別会場で開催された商工会議所などの展示ブースは、想像を超える盛況ぶりでした。

翌18日は、稚内から参加した12人がモンカイを訪問し、ホ・クワン・フィー市長と面会し、和やかな雰囲気の中で、両市の紹介などを行い、交流を深めてきました。

モンカイは、ホーチミン、ハノイに次ぐ、ベトナム第3の人口10万人を超える都市であり、高速道路でハロンから北に約1時間半程度の距離に位置し、街には活

気が溢れ、田園では水牛が草を食んでいる穏やかな都市という印象を受けたところです。

モンカイの行政区域に入り、最初に訪れた、中国との国境に位置するサビ地区というところでは、省の創立50周年を記念して建設された記念公園を見学しましたが、その整備が行き届いた様子に、大変感心しました。

また、両国から毎日1万6千人ほどが往来するという、中国との国境に架かる橋を見学しましたが、目の前が中国の東興市とい

うことで、まさに指呼の先の賑わいぶりには、目を見張るものがありました。

半日という短い時間での訪問でしたが、多文化と共生する国境地域の状況を目の当たりにして、本市の国際都市としての将来に、十分参考にしなければという思いを抱きながら、フィー市長と再会を約束し、帰路に着きました。

今回の訪問で得た、現地との新たな関係を活かし、ベトナムからの技能実習生などの受け入れに関する取組などを進めていかなければならないと考えています。

12月補正予算

【一般会計】	19億2,005万5千円	追加
【特別会計】	110万3千円	減額
【企業会計】	7,310万7千円	追加
【補正総額】	19億9,205万9千円	追加

※一般会計、特別会計、企業会計を合わせた予算総額の前年度同期比は2.0%の増となります。

【一般会計補正予算の主な内容】

議会費	74万8千円
議員報酬等事務	
総務費	14億8,969万4千円
ふるさと納税推進事業、日本のてっぺん応援基金積立事業	
民生費	3億3,983万4千円
住民税非課税世帯価格高騰対策給付金支給事業	
乳幼児等医療費助成事業 ほか	
衛生費	228万円
新型コロナウイルスワクチン接種事業	
農林水産業費	100万円
家畜自衛防疫事業	
商工費	120万円
利尻礼文サロベツ国立公園指定50周年機運醸成事業	
土木費	2,051万3千円
道路橋梁維持管理事業、港湾整備事業特別会計繰出事業	
消防費	723万9千円
消防事務組合負担金事業	
教育費	1,190万円
学校保健特別対策事業	
職員費	4,564万7千円
人事院勧告等に伴う職員給与費及び諸費の追加	